

UIIIA = 2

発行 宇治市国際親善協会

事務局 〒611-8501 宇治市宇治琵琶33 宇治市役所秘書広報課内電 話 0774-22-3141 (内線2058) FAX 20-8776 Eメール hishokohoka@city.uji.kyoto.jp ホームページ http://uifa.news.coocan.jp

第 88 号 令和2年 (2020年) 7月

令和2年度より、今川前運営部会長から新たに矢野氏に運営部会長を引き継いでいただくこととなりました。

「親善協会」。「国際化」。「新しい日常」に思う

宇治市国際親善協会 運営部会長 矢野 友次郎

宇治市国際親善協会は、平成29年(2017年)3月に創立30周年を迎えました。思えば平成時代がすっぽり協会の歩みとなりました。自分の人生でもこの30年は、非常に意義深い時期であります。

市が友好都市盟約を締結したのは、この前年にスリランカのヌワラエリヤ市と中国の咸陽市、数年後にカナダのカムループス市と盟約を締結しました。

当時は、国際親善協会のもと多くの市民や市民団体が交流に参加し、訪問団としてそれぞれの国や市へ、また、来宇された訪問団の受け入れ等、国際色に輝き、海外に友好都市や姉妹都市を持たないと国際都市に認められない時代であり、交流に花が咲きました。

一方、この30年に、世界はめまぐるしいスピードで変化していきました。特に後の10年は、海外には出入国の簡素化で、格安料金でほぼどこの国でも行けます。どこの国からも日本に来ることができます。町に外国人観光客が溢れる昨今です。労働力不足で外国人労働者を雇用する、技術習得で研修生を受け入れる等、雇用形態も変わってきました。

国は、多文化共生として日本と文化の異なる人たちと、違いを理解し、地域においてもお互いに協力し合う風土をつくることを奨励し、災害国である日本で生活する外国人の人たちに災害時の支援の体制、避難や避難所、災害情報、食糧や必要な生活物資やさまざまな課題を周知しなければなりません。その為にも日本語の教室や生活上の必要な手続きのパンフレットなどの設置が不可欠になってきます。

親善協会として、このような課題にどう対応していくのか。京都府国際課と京都府国際センターが主催する「国際化」の会議に出席すると府下の市町村は、対象となる外国人の数は少なくても、災害時の外国人支援体制は、顔の見える体制を構築されています。共生社会としての取り組みも企業と連携し、若い外国人労働者と「春の花見会」は何年も続いています、と報告されています。

宇治市も、協会も「国際化」に大きく舵を切る時だと考えます。

こうした時に、2020年のスタートから「新型コロナ禍」に見舞われました。

当分は、このウイルスと付き合わなければならないと言われています。今までの日常でなく「新しい日常」が求められます。

「日常」は別で考えるとして、過去から未来へ、求められる変化へ、コロナのピンチをチャンスに変えていかなければなりません。「コロナで振り出しに戻る」でなく前を向いて取り組む事が、今の協会に与えられている課題だと思います。

令和2年度総会議案を書面議決にて承認

令和2年度宇治市国際親善協会総会を4月25日(土)に開催予定でしたが、新型コロナウイルス感染症拡大防止のため、会場への参集による開催は中止となりました。 それに伴い、総会における議決事項を理事会へ委任して議決を行うこととし、会員の過半数から同意を得たため、理事会へ委任を行いました。その結果、各理事より 書面議決にて令和元年度事業報告・決算報告および令和2年度事業計画・予算について承認を得ました。

【事業報告】

令和元年度

1.啓発·研修事業			
事業名	実施時期	事業内容	実施場所
①国際交流講演会	5月18日	国際理解推進を図るため、会員及び市民を 対象に講演会「滞日ベルー人の日本での生 活と文化交流」を開催	生涯学習センター
②協会ニュースの発行	年3回(8月、12月、3月)	各400部を発行し、各会員や友好都市関係 団体などに配布した。	
③ホームページ・管理運営	適宜更新	ホームページにお知らせ・事業報告等を掲 載など	
④語学講座	8月21日~10月16日	会員や市民を対象に語学講座を実施した (全8回)。受講生:こども英会話21名、初歩 のスペイン語15名(宇治国際交流クラブ共 催)	生涯学習センター
⑤ボランティア養成講 座	10月19日~12月21日	市内在住の外国人に日本語を教えるボラン ティアの養成講座を開催(宇治国際交流クラ ブ共催)	総合福祉会館 生涯学習センター
⑥日本語講座	通年	市内在住の外国人を対象にした日本語教室 に協力(宇治国際交流クラブ、スピークサロン)	
⑦中国帰国者向け日 本語基礎講座	通年	中国帰国者を対象に日本語教室に協力し語 学力の向上と友好を深める(宇治ロータリー クラブ・朋友館)	大久保青少年センター
⑧市民啓発・国際理解交流	①7月27日 ②10月7日~11日 ③2月16日 ④3月23日~27日	① 夏休み子ども☆わくわくフェア、②カムループス市写真展を開催、③宇治まなびんぐフェスタ2020に宇治国際交流クラブと参加、④ヌワラエリヤ市市民訪問団写真展を開催(宇治市グラウンド・ゴルフ協会共催)	

2.交流推進事業			
事業名	実施時期	事業内容	実施場所
①友好都市からの	5月16日~18日	カムルーブス市からトンブソンリバーズ大学 研修生を受入(学生11名、教員3名)(宇治国際交流クラブ共催)	生涯学習センターほか
訪問団の受入など	10月8日~11日	カムループス市から公式訪問団を受入(18 名、宇治国際交流クラブ共催)	生涯学習センターほか
②友好都市への 訪問団の派遣など	2月5日~13日	ヌワラエリヤ市へ市民訪問団(12名)を派遣	ヌワラエリヤ市ほか
3.その他の事業			
事業名	実施時期	事業内容	実施場所
①各種国際交流・国 際理解事業の支援	通年	協会加盟団体等が実施する国際交流・理解 事業に補助金を交付して支援	
②関係団体との連携・ 協力	通年	関係団体主催事業への参加、協力、後援	
③府・他市町村との連携	通年	広報誌などを通じての情報交換、連携	
④(公財)京都府国際 センターとの連携	適宜	(公財)京都府国際センターへの評議員派 遺、国際交流団体等との連携を促進	
⑤滞日外国人に対す る防災対策	適宜	宇治市に居住もしくは観光される外国人に 対する防災対策の取り組み。災害時外国人 支援ワーキング会議(京都府、京都府国際 センター共催)に出席	
⑥小会議の実施	適宜	協会の今後のあり方を検討する会議を計3 回実施し、①災害時等外国人支援、②日本 語教室の実施、③協会の運営について提言	

【決算報告】

収入の部					
項目	当初予算額	収入済額	差引增減	説明	
1.会費	490,000	496,000	6,000	1 個人会員 128人 2 団体会員 18団体 3 法人会員 15団体	256,000 90,000 150,000
2.補助金	1,400,000	1,400,000	0	1 協会事業補助 2 公式市民訪問団派遣補助	900,000 500,000
3.負担金	160,000	158,000	-2,000	1 語学講座参加者負担金 (@7,000×2人、@5,000×17人 @3,000×17人) 2 日本語ボランティア講座参加者負担金 (@2,000×4人)	150,000
4.繰入金	0	8,549	8,549	1 周年記念事業繰入金	8,549
5.繰越金	1,227	1,227	0	1 前年度繰越金	158
6.雑入	773	2,523	1,750	1 預金利息 2 寄附 3 その他	23 0 2,500
合計	2,052,000	2,066,299	14,299		

項目	当初予算額	支出済額	差引增減	説明	
1.会議費	60,000	75,123	15,123		
				1 総会·理事会·運営部会	75,123
2.事務費	62,000	25,463	-36,537		
				1 事務消耗品	15,013
				2 印刷代	10,450
3.事業費	1,919,000	1,741,115	-177,885		
				1 国際交流講演会	40,747
				2 会報発行	193,417
				3 ホームページ管理運営	80,194
				4 語学講座	225,986
				5 日本語基礎講座	250,000
				6 日本語ボランティア養成講座	116,520
				7 友好都市訪問事業	549,556
				8 友好都市歓迎事業	162,696
				9 海外友好交流推進事業	0
				10 提携事業	90.000
				11 防災対策事業	. 0
				12 周年記念事業	0
				13 市民啓発・国際理解交流	23,450
				14 小会議	8,549
4.諸支出金	7,000	220,000	213,000		
				1 構成団体会議出席負担金等	0
				2 周年記念事業積立金	220,000
5.予備費	4,000	0	-4,000		
合計	2,052,000	2,061,701	9,701		

* 収入済額 2,066,299 - 支出済額 2,061,701 = 翌年度に繰り越します。

【事業計画】

1.啓発・研修事業			
事業名	実施時期	事業内容	実施場所
①国際交流講演会		国際理解推進を図るため、会員及び市民を 対象に講演会を開催する	生涯学習センター
②協会ニュースの発行	年3回	各400部を発行し、各会員や友好都市関係 団体などに配布する	
③ホームページ管理運営	適宜更新	ホームページにお知らせ·事業報告等を掲載する	
④語学講座	11月~12月	会員や市民を対象に語学講座を実施する。 全8回(こども英会話、スペイン語講座)	生涯学習センターほか
⑤ボランティア養成講 座	10月~12月	市内在住の外国人に日本語を教えるボラン ティアの養成講座の開催	
⑥日本語講座	通年	市内在住の外国人を対象にした日本語講座 を開催する団体へ協力(宇治国際交流クラ ブ・スピークサロンに協力)	
⑦日本語教室	通年	市内在住の外国人を対象にした日本語講座 を開催	
⑧中国帰国者向け日本語基礎講座	通年	中国帰国者を対象に日本語基礎講座を開催し語学力の向上と友好を深める(宇治ロータリークラフ・朋友館共催)	大久保青少年センター
⑨市民啓発・国際理解交流	適宜	市民を対象に国際理解、交流を目的とした 講座を開催する	

2.交流推	進事業			
事	業名	実施時期	事業内容	実施場所
①友好都で 訪問団の			カムループス市からトンプソンリバーズ大学 研修生を受入	
②来訪者被 海外友好	大迎・ 交流促進		外国都市からの来訪者の歓迎、友好都市を はじめ海外都市との友好交流促進	

3.7	· の 佃	າ ທ ∄	事業

5. (の他の事末			
事業名	実施時期	事業内容	実施場所
①各種国際交流・国 際理解事業の支援	通年	協会加盟団体等が実施する国際交流・理解 事業に補助金を交付して支援	
②関係団体との連携・ 協力	通年	関係団体主催事業への参加、協力、後援	
③府・他市町村との連 携	通年	広報誌などを通じての情報交換、連携	
④(公財)京都府国際 センターとの連携	適宜	(公財)京都府国際センターへの評議員派 遠、国際交流団体等との連携を促進	
⑤滞日外国人に対す る防災対策	適宜	宇治市に居住もしくは観光される外国人に 対する防災対策の取り組み	

【予算】

収入の部					
項目	本年度予算額	前年度予算額	増減	説明	
1.会費	480,000	490,000	-10,000	1 個人会員 @2,000×120人 2 団体会員 @5,000×18団体 3 法人会員 @10,000×15団体	240,000 90,000 150,000
2.補助金	900,000	1,400,000	-500,000	1 協会事業補助	900,000
3.負担金	160,000	160,000	0	1 語学講座参加者負担金 2 日本語ボランティア講座参加者負担金	150,000
4.繰入金	0	0	0		
5.繰越金	4,598	1,227	3,371	1 前年度繰越金	4,598
6.雑入	402	773	-371	1 預金利息等	402
合計	1,545,000	2,052,000	-507,000		

支出の部					
項目	本年度予算額	前年度予算額	増減	説明	
1.会議費	60,000	60,000	0	1 総会会場·通信等	60,000
2.事務費	160,000	62,000	98,000	1 消耗品代 2 印刷代	30,000 130,000
3.事業費	1,316,000	1,919,000	-603,000	1 国際交流請演会 2 協会ユース発行 3 ホームページ管理運営 4 語学講座(子ども英会話、スペイン語) 5 日本語基礎講座 6 ボランティア養成講座 7 友好都市歓迎事業 8 海外友好交流推進事業 9 提携事業 10 防災対策事業 11 市民啓発・国際理解交流	40,000 210,000 81,000 230,000 325,000 180,000 50,000 10,000 30,000 40,000
4.諸支出金	7,000	7,000	0	1 構成団体会議出席負担金等	7,000
5.予備費	2,000	4,000	-2,000	1 予備費	2,000
合計	1,545,000	2,052,000	-507,000	·	

咸陽市からのおくりもの



4 598 円(士

今般、咸陽市より15mもの長さの巻物が届きました。中国の広大な国土を彷彿させるスケールの巻物です。

宇治市と咸陽市は昭和61年(1986年)に友好都市提携協定書を交わしました。 その後、現在にいたる34年もの間に市民訪問団の派遣や受け入れ、両市の小学校間の文通、咸陽市の子供達へ宇治市より本の寄贈などを通じて交流が続けられてきました。 平成30年(2018年)10月には宇治市日本中国友好協会による咸陽市等市民訪問団が中国を訪れ、宇治市の友好都市である咸陽市にも滞在しました。その際に小倉小学校の児童が描いた宇治市紹介の絵や寄せ書き、また、こざくら幼稚園の園庭のうつりかわりを記録した冊子や宇治市の名所の絵画などを贈呈しました。

今回届いた巻物には、小倉小学校の児童の手紙への返事として、咸陽市の子

供達からの繊細で美しい切り絵をはじめ、色とりどりのイラストやメッセージ などが隙間なく貼られています。また、巻物に貼られている子供達からの中国 語の手紙には、現地の大学生によって翻訳された日本語もついています。

今年(2020年)は新型コロナウイルスの世界的大流行により、実際に渡航して 交流することは難しくなりましたが、その一方でこのような形での交流の輪は 広がり、咸陽市と宇治市の友好関係はますます深まっています。









会員募集と会費納入のお願い

当協会の運営は皆様の会費によって成り立っています。会の運営活動を活発に行うため、皆様の会費納入をよるしくお願いします。

尚、会費の納入は振込または事務局にて納入をお願いします。 併せて、会員の募集をしています。皆様のご協力をお願いします。

【年会費】 個人会員: 2,000 円 団体会員: 5,000 円 法人会員: 10,000 円

【振込先】 京都銀行宇治支店普通預金…678459 受取人は「宇治市国際親善協会」です。

事務局だより

事務局では協会会員の皆様からの原稿を募集しています。団体または個人での研修や旅行記、体験手記など国際交流に関する内容であればテーマは問いません。掲載をご希望の方は郵送、Eメール、または FAXにて協会事務局までお願いします。掲載は各号1~2名を予定しています。ただし、その他の記事の関係上、記載できない場合もございます。(応募先は1面を参照)

内 容: 事実にもとづいて書かれた未発 表のもの

字 数:800字程度(できましたら写真も 2、3枚提出願います。)

応募の際は、お名前とご連絡先を忘れず に明記してください。

雜翻雜感

遠い記憶をたどると、20年程前にカナダにオーロラ鑑賞ツアーに行ったことがあります。結局、オーロラは観られませんでしたが、

そこで出会った自然の規模が想像以上に大きく、自分の中の「普通」が場所が変われば「普通でなくなる」ことを体感した記憶があります。この経験から、言葉や文化、環境の違いを通して価値観の違いに気付いたり、自分自身の価値観を再認識・再構築したりするきっかけを作る役割が国際交流にはあるのではないかと感じました。

今年に入り、新型コロナウイルス感染症が世界中で猛威を振るう中、東京オリンピック・パラリンピック等の国際交流に関連するイベントが軒並み中止・延期となっており、宇治市でも今年度はカムループス市との交流事業を中止することになりました。残念ではありますが、人の移動を伴う国際交流の形が困難になっている一方で、新たな形としてオンラインでの国際交流が出始めているようです。今まで経済面や健康面等で断念していた人も自分の状況に合わせた国際交流の形が選択できるようになり、今後の国際交流にとって有効な手段となっていくとともに、より多くの人が国際交流を通じて自分自身の価値観を広げる機会にもつながると感じています。 (S・O)